

整理番号	HT30030	分野	その他	キーワード	プログラミング
------	---------	----	-----	-------	---------

研究機関名	山形大学				
プログラム名	ロボット・プログラミングを通してスマートシティ構想と AI モラルを考えよう				
先生(代表者)	加納 寛子(かのう ひろこ) 学士課程基盤教育機構・准教授				
自己紹介	大学では数学のトポロジー分野を学びました。大学院の修士課程の頃には心理学を学び心理検査士の資格も持っています。大学院の博士課程では情報通信に関する研究を行い、ICT 活用やネットいじめなど情報と人に関する様々な問題を解決する研究を行いました。最近では、人工知能が搭載されたロボットと人との関係について取り組んでいます。				
開催日時・募集対象	平成 30 年 11 月 23 日(金)～24 日(土)	受講対象者	高校生	募集人数	30 名
集合場所・時間	基盤教育院 1 号館前集合		(集合時間)	10:30	
開催会場	山形大学 小白川キャンパス 基盤教育 1 号館 講義室・多目的室, 体育館 住所: 〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12(小白川キャンパス) アクセスマップ: http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#koji				
内 容					
AI(人工知能)が搭載されたロボットと人が共生する時代は間近に迫っています。皆さんが大人になったときには、これまで人が行ってきた仕事の多くをロボットが担う時代になっているかも知れません。この事業では、直感的にプログラムを組むことのできるビジュアルプログラミング言語を利用し、ロボットプログラミングを行います。しかし、プログラミングのスキルを身につけることが目的ではありません。プログラミングが初めてという人も大丈夫です。ここで目指す目的は、AI が至る所に埋め込まれた AI 時代に生きる未来の皆さんが、どのようなモラルが求められることになるのか、AI モラルについて考えることを目的とします。 講義: 近い将来、司令塔の役割をするトップの人間、その下に中間管理職の役割を果たす AI、AI と共存して働く人間、AI の指示の下で働く人間という四層構造になるだろう。そのような AI 時代に、AI と共存して働くために必要な教養とは何かについてお話しします。 実験・実習: スマートフォンで利用できる無料アプリを用い、ロボットプログラミングを行い、グループごとにスマートシティを作り、その街の中をロボットを移動させ、未来の物語を創作します。その後、AI モラルについて考えます。					
スケジュール			持 ち 物		
11 月 23 日(金)10:00～10:30 受付(基盤教育院 1 号館前集合)			筆記用具		
10:30～11:15 科研費の説明、講義「AI 時代に必要な教養とは」			タブレットやスマートフォン(任意)		

11:30～12:15 スマートシティに使うロボットやドローンの実演と プログラミングアプリの説明	特 記 事 項
12:15～13:30 昼食・実施担当者と参加者の交流会	
13:30～16:15 ヒューマノイドロボットやドローンが飛び交う街を想像 し、スマートシティーを作成	
11 月 24 日(土)	
10:00～12:15 グループごとにロボットやドローンを操作し、理想の街 を実演発表	
12:15～13:30 昼食・実施担当者と参加者の交流会	
13:30～15:45 ヒューマノイドロボットやドローンが飛び交う街におけ る AI モラルについて考える	
15:45～16:00 受講生 : アンケート記入	
16:00～16:10 修了式(未来博士号授与) 終了後解散	

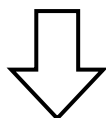
《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名 :	山形大学小白川キャンパス事務部総務課 高橋 和音(たかはし かずお)
住 所 :	〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12(小白川キャンパス)
T E L 番 号 :	023-628-4126
F A X 番 号 :	023-628-4125
E - m a i l :	kj-soukatu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
申 込 締 切 日 :	平成30年11月1日(木) 申込先 URL: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfLBJe2yR2La7zT3MSCv7qjuW-QU8XG0GED-FC6uyDVIJl59g/viewform

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、11月10日(土)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加納 寛子	H25-27	基盤研究(B)	25282031	国際比較に基づいた情報リテラシーに関するオントロジーの構築と目標の分類
加納 寛子	H23-25	若手研究(B)	22700784	携帯端末を用いた情報モラル教育システムの構築
加納 寛子	H21-23	若手研究(B)	19700613	高等教育における情報リテラシー格差是正に資する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。